

## 献 辞

貝原基介教授は、京都大学の定めるところにしたがって、前学年末をもって本学を御退官になりました。

教授は、昭和40年6月に本研究施設教授に就任されて、46年4月から2か年間、研究施設長を務められました。47年10月には農林経済学教室農業経営学講座に移られましたが、ひき続き併任教官として本研究施設の研究・教育活動の充実のために貢献してこられました。その間、きちょうめんな御性格とアイデアの豊かさにもとづいて、簿研の運営制度や研究組織の整備など、いわば簿研の枠組み造りに情熱を傾けられました。簿研の研究方向は、時代の要請の変質や専任教官の交替につれて変ってゆきますが、貝原教授の植えつけられた研究体制は永く引継がれてゆくものと思われま

教授は、現在きわめて御健勝で、これからは簿研で手がけられた農業会計学を始めとして、広く経済学一般の御研究成果をおまとめになるとお聞きしております。

われわれは、教授の御業績をたたえ、永年にわたる簿研への御貢献に対して心からなる感謝を捧げるために、この13号を記念号として教授に謹呈することにしました。

今後ますます御壮健に、後進を御指導下さいますようお願い申し上げます。

昭和55年6月

編集者代表 頼 平